



文明と文化

「オープン AI」として「チャット GPT」やら「DALL-E」などについて耳にする機会が多くなりました。文明の進歩は目まぐるしく進んでいます。人間社会において文明の発達は間違いなく良いことではありますが、子ども達にとってはそうばかりとは言えません。オープン AI の技術は、過度に依存すると自ら考える力や問題解決能力が育ちにくくなります。特に質問をすればすぐに答えが得られるため試行錯誤のプロセスを学習することなく成長してしまいます。加えて AI が提供する情報を信じてしまうという危険性もあります。では、文化はどうでしょうか？文化は、精神的・芸術的な側面を含む人々の価値観や習慣・言語・思想などを指します。つまり文明が物質的な進歩を重視するのに対し、文化は人々の生き方や考え方にかわるものなのです。各園で行う課内プログラムも、それぞれの園が子ども達に伝えたい文化的な要素を含む内容を選別して行っています。よって、同じ奏者・講師であっても園が望む進行で子ども達に提供できることが「幼児文化芸術協会」のキッズ・ポケッツの良さの一つです。やはり幼稚園では、自らの体をフルに使い、五感を通して自らが考え、自分の力で意思決定できる子どもたちに育てていきたいものです。

志だみ幼稚園（園長：佐藤 彰芳）

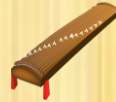


会員園

- 栄光八事幼稚園(天白区)
 - 小幡あさひ幼稚園(守山区)
 - 志だみ幼稚園(守山区)
 - 東郷旭丘幼稚園(東郷町)
 - とみよし幼稚園(愛西市)
 - 名古屋西幼稚園(西区)
 - 鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
 - 日進旭丘幼稚園(日進市)
 - 美里幼稚園(豊田市)
- ※50音順

小幡あさひ幼稚園 『箏と尺八』

令和7年1月に「箏と尺八 ～日本の音色に親しもう～」を行いました。まずは忍者に扮した“のむのむ”の進行で始めると、尺八を吹きながら虚無僧(こむそう)が登場して頭から被っている笠を取ると、その方は今回の尺八の講師でした。続いて舞台の幕が開くと、そこには2名の箏奏者がスタンバイしていて、早速箏と尺八による「春の海」の演奏が行われました。次に楽器の紹介が行われ、のむのむが子どもたちに「尺八は何でできている?」「箏の弦は何本?」などとクイズを出す度に、子どもたちは自分で考えて楽しそうに口々に答えていました。そしていよいよ体験タイム。さすがに尺八は難しくても箏なら体験可能です。子どもたちは順番に箏の前に正座して、箏爪をつけてポロポロポロ〜と奏でさせてもらいました。担任の先生も体験させてもらい、レクチャーを受けながら「さくらさくら」に挑戦しました。体験の後は演奏をバックに「おならのしゃもじ」の読み聞かせを楽しんで、最後に「さくらさくら」の鑑賞で締めくくり、充実したひとときを過ごしました。



とみよし幼稚園

『社交ダンス体験』

久しぶりの「社交ダンス体験」のプログラムです。先生の自己紹介と社交ダンスについての簡単な説明があり、その後待望のダンス体験の始まりです。まずは基本の前後のステップからです。右足と左足を交互に動かすだけなのですが、いざステップを踏んでみますと、「あれっ!」という声があちこちから上がりました。言葉では簡単でも、ダンスとなるとなかなか思う様になりません。

しかし、数分もしますと大人も子どもも、動きがスムーズになってきました。中には、「お母さん、違うよ」と子どもの方が早く覚えてしまった組、「足をこうして・・・」と我が子に教える組もあるなど様々です。皆さんそれぞれの表情からとても楽しくステップを踏んでいることがわかりました。これを機会に社交ダンスに興味を持っただけならとても嬉しいです。

参考～社交ダンスは英語で ballroom dance

(ボールルームダンス)と言います～



東郷旭丘幼稚園

弦楽器～ピアノ三重奏を楽しもう

3月3日にヴァイオリンとチェロ、ピアノの三重奏を楽しみました。綺麗なドレスを着た演奏者にみんなうっとり。「ヴァイオリンの弓は何でできているのでしょうか?」「弦の本数は何本あるのでしょうか?」「どうやって音を出しているのでしょうか?」等、クイズ形式の質問に一生懸命答えている様子はとても頼もしかったです。ヴァイオリンとチェロの音の違いに気付けるような言葉掛けをしてくださり、子ども達は引き込まれていきました。最後には、ひな祭りに因んで『うれしいひなまつり』を演奏してくださったり、『崖の上のポニョ』の演奏が始まった時は、数日前のお遊戯会で発表した曲という事もあり、子ども達も大合唱していました。最後には、演奏者の方々が笑顔で手を振って見送ってくださり子ども達もとても嬉しそうでした。一年間を通して本物に触れるという体験をし、毎回ワクワクドキドキしながら遊戯室に入っていく子ども達は知らず知らずのうちに、色々な感性を目・耳・体で感じて育まれていくのだと嬉しく思いました。

